

## 外郭団体ミッション遂行評価票

## 【令和3年度取組結果】

団体名	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
-----	------------------

所管課	保健福祉局 総務課
-----	-----------

<b>団体に対するミッション</b> 他の民間事業者では取組みが困難な福祉サービスの充実に積極的に携わること。 また、事業団が持つ多様な専門性を活かし、民間の社会福祉法人等の先導的役割を担いつつ、より質の高いサービスを提供すること。
--

<b>行財政改革大綱における見直し内容</b> 平成22年度までに抜本的な見直しを行い、経営健全化を達成しているが、引き続き、健全な経営の維持に努める。
---

### ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	(1)再整備後の総合療育センターの機能を活かし、障害児・者支援の中心的な役割を担う。 (2)団立保育所、児童館、障害児支援施設の専門性を活かし、子育て支援の先導的役割を担う。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29 実績	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 目標 実績		R4 目標	R5 目標
総合療育センターの利用者満足度	94.3%	96.4%	96.8%	96.4%	90%以上	98.1%	90%以上	90%以上
介護実習・普及センターの利用者満足度	99%	99%	99%	100.0%	98%以上	99.0%	98%以上	98%以上
児童館の利用者数	627,127 人	637,106 人	561,263 人	332,432 人	612,000 人以上	388,369 人	612,000 人以上	612,000 人以上
国保特定健診受診者のうち特定保健指導非対象で保健指導が必要な者（区役所対応分）に対する指導割合	49.4%	59.8%	58.5%	59.6%	40%以上	60.9%	40%以上	40%以上

### ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）

<b>団体における評価</b> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部業務の休止や活動の縮小をしながら、安全・安心なサービスの提供及びサービスの質の向上と快適な環境づくりに努め、継続した施設・事業運営を行った。 あわせて、総合療育センターでは、各部署で目標を定め経営改善に取り組み、小池学園では定員や適用制度の見直しを行うなどの収支改善に取り組み、結果として、当期活動増減差額は、前年比で約2億4千万円改善し1億2639万円と3年ぶりにプラスに転じた。	<b>市の評価</b> 総合療育センター及び介護実習・普及センターの利用者満足度は、昨年度と同様に目標値を上回り、高い満足度を維持している。 また、これまで蓄積してきた専門技術やノウハウを生かし、老若男女問わず多世代にわたる相談・支援に努めており、質の高いサービス提供の継続的な実施にも努めているものと評価する。 特に総合療育センターでは、これまでの組織一体となった経営改善の取組みが実現し、左記の通り、当期活動増減差額は、3年ぶりのプラスに転じるなど、一定の成果
<b>今後の課題及び見直し内容（案）</b> ①サービスの充実 安全安心を最優先に、ニーズに即したサービスの提供を目指すとともに、感染症や自然災害へのリスクマネジメントの強化も図っていく。 ②人材の確保・育成 制度や組織の見直しを行うとともに、学生や若年層に浸透しやすいツールを活用した採用活動などを行う。また、ICTの活用などによる働きやすい職場環境づくりを推進する。 ③健全な財務運営 業務の効率化などの経営改善を継続して行うとともに、事業自体の採算性や必要性を吟味し、必要な財政的措置について関係機関と協議しながら検討していく。	<b>団体への改善指導内容（案）</b> 引き続き、社会状況の変化に伴う社会福祉法人改革などに的確に対応するとともに、不祥事防止、固有職員の確保・育成に努めるように指導を行う。固有職員を確保する際は、財務状況を注視し、継続的かつ安定的な経営が行われるよう指導を行う。 併せて、今後は、組織の見直し、ICT活用による働きやすい職場環境づくり等への取組みや、継続した経営改善等を行っていくにあたり、必要な情報提供や指導を行っていく。

### その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
令和3年度は、事業団の経営計画「中期計画2025」の初年度として「経営基盤の安定化の推進」「地域福祉の向上に貢献」「ガバナンスの強化と経営の透明性の確保」の方針のもと、様々な工夫を凝らしながら事業を実施した。	